

# 〔連携事例5〕 5歳児と1年生児童との交流

福知山市立大正幼稚園

## 1 はじめに

大正幼稚園と大正小学校は、園庭を挟んで、校舎が建っており、朝の登園も小学生と一緒に登園している。園児・児童・教師が、お互いに自然に触れ合う機会が多く、幼小連携のとりやすい立地条件がある。

今、『幼児期から児童期への発達の連続性・遊びから学びへの連続性』の大切さが重視されているなかで、大正幼稚園と大正小学校では「幼小のなめらかな接続」を願い、幼稚園と小学校が歩み寄り同じ思いで「幼小の連携」に取り組んでいるところである。大正小学校 1 年生との交流会は、「幼小連携の初めの一步」として、平成 16 年度より計画的に取り組みはじめたものである。

## 2 取組の実際

平成 16 年度

平成 17 年度

第 1 回目 7 月 7 日 幼稚園で	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 1 年生の音楽劇「おおきなかぶ」の発表</li> <li>○ ふれあい遊び「じゃんけん列車」</li> <li>○ 1 年生にプレゼント(けん玉)をもらう。</li> <li>○ 七夕飾りや短冊を笹につける。 七夕のうたを歌う。 (園児の願いごとを小学生に書いてもらう。)</li> </ul>
第 2 回目 12 月 17 日 幼稚園で	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 1 年生の歌「さる・るるる」の発表</li> <li>○ 園児の発表・歌を歌う。</li> <li>○ グループで遊ぶ。 (かるた・トランプ・カード遊びなど)</li> <li>○ 1 年生からプレゼント(パクパクサンタ)をもらう。</li> <li>○ あわてんぼうのサンタクロースの歌を歌う。</li> </ul>
第 3 回目 3 月 7 日 小学校で	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 1 年生の歌と合奏の発表</li> <li>○ 幼稚園児の歌と合奏の発表</li> <li>○ グループで交流 (自己紹介・読み聞かせ・カルタ遊びなど)</li> <li>○ 給食交流をする。(配膳や食べ方を教えてもらう。)</li> </ul>

第 1 回目 7 月 7 日 幼稚園で	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 1 年生の音読劇「おむすびころりん」の発表</li> <li>○ ふれあい遊び</li> <li>○ 1 年生からのプレゼント(紙皿のフリスビー)をもらう。</li> <li>○ 七夕飾りや短冊を作 って飾る。 (1 年生に教えてもらう。)</li> </ul>
第 3 回目 2 月 予定 小学校で	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 1 年生と園児の歌や合奏の発表</li> <li>○ 楽しいゲーム遊びをする。(文字や数に関心を持つ。)</li> <li>○ 給食交流をする。</li> <li>○ 園児から 1 年生にプレゼントをする。</li> </ul>

※第 2 回目の交流会は、後記に記載する。

## 3 幼稚園 5 歳児と 1 年生との交流会(平成 17 年度第 2 回目)

- (1) 日 時 平成 17 年 11 月 15 日(火) 午前 10 : 00 ~ 午前 11 : 30
- (2) 場 所 大正幼稚園遊戯室
- (3) 本時のねらい

◎ 仲良く交流を楽しみ、親しくなろう。

\* 幼稚園児のねらい

- 1 年生の前で歌を恥ずかしがらずに発表しよう。
- フォークダンスを 1 年生に紹介しよう。

- 1年生の発表をしっかりと見たり聞いたりしよう。 ～ぶんぶんごまを作る～
- \* 小学生のねらい
  - 勉強して賢くなったこと（ところ）を見てもらおう。
  - ぶんぶんごまを作り、園児に作り方や遊び方を教えてあげよう。
  - 園児にフォークダンスを教えてもらおう。
  - 園児のがんばっているところを見よう。

(4) 本時の展開

時間	環境構成のポイント	幼児・児童の活動	教師の指導援助・留意点
20分	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 1年生と園児が互いの顔がよく見えるように向かい合って座る。</li> <li>○ 場や空間を十分にとり、発表しやすいようにする。</li> <li>○ 1年生の方を向き、姿勢よく立って歌えるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 始まりのあいさつをする。</li> <li>○ 1年生の司会で始める。</li> <li>○ 1年生の開会のあいさつ</li> <li>○ 1年生の歌「世界がひとつになるまでに」を歌う。</li> <li>○ 1年生の劇の発表「くじらぐも」</li> <li>○ 幼稚園児の歌の発表「きのこ」の歌「笑顔がかさなれば」の歌</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 静かに落ち着いて進められるように、1年生が中心になり、司会の児童が声かけをする。</li> <li>● 1年生が美しい声で歌ったり楽しんで、真剣に発表している姿を、静かに落ち着いて見させる。</li> <li>● 1年生が、今まで学習してきた力を十分発揮できるように支援する。</li> <li>● 恥ずかしがらずに楽しんで発表できるようにする。</li> </ul>
30分	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ グループに分かれて、各々円形に座り、話し合ったり、教えあったりしやすい隊形になる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 全員で、「ぶんぶんごま」を作って遊ぶ。</li> <li>○ 1年生に「ぶんぶんごま」の作り方を教えてもらい一緒に作る。</li> <li>○ 1年生が切った紙に、園児が色を塗り、糸を通す。</li> <li>○ ぶんぶんごまで遊ぶ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 1年生の話をよく聞いて、ぶんぶんごまの作り方を教えてもらうように支援する。</li> <li>● 1年生2～3人が、園児の名前を書いたカードを用意し、自己紹介し合うようすを見守る。</li> <li>● 園児ができないことや困った時には、1年生が手助けをするように指導する。</li> <li>● 丁寧に色を塗り、紐を通して、楽しんで作る事が出来るようにする。</li> </ul>
20分	～フォークダンス～	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 園児のフォークダンスを見る。「おててつないで」</li> <li>○ 1年生に園児が「おててつないで」のフォークダンスを教える。</li> <li>○ 全員で歌を歌う。「どんぐりころころ」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 園児のリードで、1年生も楽しく踊れるようにする。</li> <li>● パートナーの交代がスムーズに出来ているか見守り、必要に応じて援助をする。</li> </ul>
10分		<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 終わりのあいさつをする。(園児と小学生の代表)</li> <li>○ 感想を発表する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 1年生のあいさつに合わせて、園児もあいさつするようにする。(1年生がリードする。)</li> <li>● 園児・1年生共に感想が出せるようにする。</li> </ul>
10分	○ 和やかな雰囲気作りをする	○ グループごとに握手をしたり、話をしたりしながら別れる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● お互いに頑張ったところを認め合えるようする</li> <li>● 教師も良かったところを話し認める。</li> <li>● 次回にも期待が持てるように見通しを示す。</li> </ul>

#### (5) 本時の反省・様子・成果

- 第2回目の交流会であり、前回よりも、より親しみを持って参加ができていた。
- 園児も、小学生も、それぞれに良い緊張感が有り、全員が「交流会が楽しかった。またやりたい。」との感想が持てたことは良かった。
- 1年生は成長した自分たちを見せようと張り切っていた。よい発表の場となって国語科の伝える力を高めることにつながった。
- 交流会の進行を1年生が責任を持って進めて行かなければならないという意識が高まり、司会者への協力もできていた。幼稚園児もよく聞いていた。
- 園児も1年生も発表したり、教え合う場面があって、お互いに認め合えたり、自信が持てたりできたことが良かった。
- 園児にとっても、1年生に教えてもらう姿は自然で笑顔も見られ、よい雰囲気の中で交流ができていた。1年生も積極的に園児にかかわろうとしていた。

#### 4 交流会を通して

##### 園児にとっては・・・

- ・ 小学生に優しくされて嬉しい気持ちになれ人間関係がふくらむ。
- ・ 小学生にほめられて自信をもつ。
- ・ 小学生の発表を見たり聞いたりして興味・関心が広がり、学校生活への期待と憧れを持つ。
- ・ 経験が広がる。
- ・ 学びの喜びが芽生える。

##### 小学生にとっては・・・

- ・ 名前を覚え人間関係がふくらむ。
- ・ 園児に優しく接しようとすることで心の成長を得る。
- ・ 交流会の流れを把握できるようになり、集中力もついてくる。
- ・ 発表の場があり、学習のまとめとしての力がつき、自信につながる。
- ・ 頼りにされる喜びを感じる。

##### 教師にとっては・・・

- ・ 園と小学校のそれぞれの指導内容や方法が交流でき、お互いに生かせる。
- ・ 園児の様子が、よく分かり、新1年生の受け入れや、指導に役立つ。
- ・ お互いの教育内容を見直す視点を得る。

##### 保護者にとっては・・・

- ・ 小学校へ入学させることへの心配や不安がなくなる。
- ・ 小学校の先生が身近に感じられる。
- ・ 兄弟の話題が共通になる。

#### 5 おわりに

交流会をはじめとして、他にも「フレンドリータイムでの交流」「出前授業」「公開保育と公開授業」など、少しずつ取組を進めてきて、改めて、園児・小学生の姿を共に理解し、共に育てるという視点に立つことや、遊びから学びへの連続性を意識した教育の大切さを痛感した。これからも、教師の交流・教育内容の交流連携などを深め、「幼稚園がつけたい力・今、育てたい力は何か。」「小学校がつけたい力・今、育てたい力は何か。」を、お互いが理解し合い、確認し合いながら、中学校をも見通した連携を進めていきたいと考えている。